

・第14回 日本生殖心理学会 学術集会

・P-8

・愛知, 2017.02.19

・演題名 ; 「不妊治療中の男性パートナーに対する心理社会的支援の試み」

・氏名 ; 橋本 知子 (ハシモト トモコ)¹⁾、浅井 麻利子¹⁾、桑原 愛¹⁾、皆吉 田津子¹⁾、友崎 薫¹⁾、伊藤 啓二郎¹⁾、中岡 義晴¹⁾、森本 義晴²⁾

・所属 ; 1)IVF なんばクリニック (アイブイエフ なんば クリニック)、2)HORAC グラ
ンフロント大阪クリニック

・発表要旨

不妊治療では男性に対する支援は遅れている。また男性要因における不妊の心理研究は散見するが、不妊治療中の男性パートナーの心理過程の知見は限られ、男性に必要とされるケアを継続的に利用しやすい形で提供していく方法が模索されている。当院における男性グループディスカッションの試みについて報告する。

・方法

1)当事者による体験談 2)看護師による卵子提供・養子縁組に関する情報提供 3)小グループに分かれてのグループディスカッション の三部構成からなる患者会において男女分かれての小グループを作り、グループディスカッションを行った。

・結果

男性同士で不妊治療について話す機会があることは望ましいと考えられていた。女性のグループが「気持ち」に重点がおかれるのに対して、男性では情報や判断の参照を求めるようなニーズの違いも見られたため、今後男性グループのニーズや効果についてより詳細な分析と検討を進めていくことが必要である。